

第71回岩手県高等学校総合体育大会

(11) バドミントン

1. 期 日

2019年5月30日(木)～6月2日(日)

月 日	開始時刻	内 容
5月30日(木)	11時45分 12時30分 13時15分	1部監督会議(一関市総合体育館) 開始式 1部学校対抗1回戦
5月31日(金)	9時00分	1部学校対抗2回戦～準決勝
6月1日(土)	9時00分 9時30分 10時00分	1部学校対抗決勝 2部監督会議 2部学校対抗1回戦～決勝 1部個人対抗ダブルス1回戦～決勝 2部個人対抗シングルス1回戦～決勝 1部個人対抗シングルス男子1回戦 1部個人対抗シングルス女子1回戦
6月2日(日)	8時45分 13時45分	1部個人対抗シングルス男子2回戦～決勝 1部個人対抗シングルス女子2回戦～決勝 閉会式

2. 会 場 一関市総合体育館

3. 競技種目

- 1部学校対抗(男女別) 2部学校対抗(男女別)
1部個人対抗ダブルス(男女別) 2部個人対抗シングルス(男女別)
1部個人対抗シングルス(男女別)

4. 参加制限

- 1部学校対抗 1校1チーム(監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名)
1部個人対抗 各ブロック予選通過者・推薦選手(平成30年度新人大会ベスト4)
2部学校対抗 1校1チーム(監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手2～4名)
2部個人対抗シングルス 各校2名以内

1部個人対抗戦ブロック予選通過数・推薦選手数一覧 (予選通過数はh29～h31の期間は固定とする)

種目	地区	久慈	盛岡	花巻	北奥	県南	宮古	釜石 気仙	小計	合 計
	内訳									
男子 単	予選通過数	1	10	4	8	7	1	4	35	43
	ベスト8枠	—	1	—	2	1	—	—	4	
	推薦枠	—	—	2	2	—	—	—	4	
男子 複	予選通過数	1	10	4	8	7	1	4	35	43
	ベスト8枠	—	2	1	—	1	—	—	4	
	推薦枠	—	—	1	3	—	—	—	4	
女子 単	予選通過数	3	12	4	8	7	1	4	39	47
	ベスト8枠	—	—	3	1	—	—	—	4	
	推薦枠	—	1	1	2	—	—	—	4	
女子 複	予選通過数	3	12	4	8	7	1	4	39	47
	ベスト8枠	—	2	—	2	—	—	—	4	
	推薦枠	—	—	3	1	—	—	—	4	

*各地区通過数の下限は1とする。

*平成30年度新人大会個人対抗ベスト4の選手は、推薦枠で出場できる。

*平成30年度新人大会個人対抗において5位(ベスト8)入賞した地区には、入賞数をベスト8枠として予選通過数に加える。

*個人対抗複において、推薦枠に該当する選手の組替えがあった場合は、該当選手が所属する地区の予選通過数に加える。

5. 参加資格

- ・2019年度岩手県バドミントン協会に登録した学校および生徒
- ・監督・コーチは、校長が認める指導者とする。
- ・マネージャーは当該校の職員または生徒とする。

6. 競技方法

- (1) 2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程に準じて行う。
- (2) 1部学校対抗は、2複3単で複-複-単-単-単の順で実施する。但し、第1単の選手は複を兼ねられない。また、勝敗は3点先取で決定しその後の試合は行わない。
- (3) 2部学校対抗は、1複2単で複-単-単の順で実施し、2点先取で勝敗を決定する。単と複は兼ねて出場できる。
- (4) 各種目ともトーナメント方式で行う。
- (5) 3位決定戦は1部個人対抗のみ行う。
- (6) 学校対抗の監督・コーチ・マネージャー・選手の変更は、監督会議をもって最終とする。

7. 参加申し込み(1部、2部ともに下記により申し込むこと)

(1) 申込先

〒029-4206 奥州市前沢区字狐石36-1
前沢高等学校内 渡邊清一(専門部委員長)
TEL 0197-56-2241 FAX 0197-56-2303

(2) 参加申込書提出方法

①(提出方法)

- ・各校は地区常任委員へ申込書を提出すること。また、プログラム用選手名簿を常任委員へデータで提出すること。
- ・地区常任委員は予選通過一覧表とプログラム用選手名簿を各地区分とりまとめの上、専門部に提出すること。また、申込書は郵送で(1)の申し込み先へ送付のこと。
- ・2部出場の各校は定通制バドミントン担当者へ申込書とプログラム用選手名簿データを提出すること。定通制担当者は下記期限までに申込書を(1)の申込先へ送付のこと。プログラム用選手名簿は下記アドレスへ送ること。

E-Mail ptf15-seiiti@iwate-ed.jp

申込期限 5月 1日(水) 12:00 必着

8. その他

- (1) 組み合わせは、各地区常任委員を代表として、抽選により決定する
- (2) 使用シャトルは、2019年度公認水鳥球(第1種検定球)とする。
- (3) 今大会で1部学校対抗に出場する学校は(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金を下記の要領で納入すること。

ア 金額 1チーム 1,000円(男女別)

イ 納入方法 各地区予選時に地区常任委員へ納入する。

→地区常任委員は組合せ抽選会までにバドミントン専門部委員長へ納入する。

→バドミントン専門部委員長は全国専門部指定口座へ入金する。

(4) 服装

ア 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。

イ 上衣の背面中央に必ず学校名及び県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。〔上段:学校名(やや大きく)、下段:県名〕

ゼッケンを使用する場合には、白の布地で縦15cm・横30cmとする。

(例)

学校名
県名

ゼッケンの場合の文字の色は黒色または濃紺色とする。
また四隅を安全ピン等で留めること。

ウ ウェアの背面・前面等の表示についての詳細は、全国専門部独自の申し合わせ事項「インターハイと全国選抜大会で着用できるウェアの表示について」(全国高体連バドミントン専門部)の通りとする。

(5) 競技中の水分補給を認めるが、その場合は蓋付きの容器を使用すること。

(6) 1部学校対抗戦優勝校、1部個人対抗戦上位2名(シングルス)、2組(ダブルス)に今年度の全国高校総体への出場権を与える。また、1部学校対抗戦上位2校と、1部個人対抗戦上位4人(シングルス)、4組(ダブルス)に今年度の東北高等学校選手権への出場権を与える。